

第14回甲府市中心市街地活性化協議会議事録

1. 開催日時 平成24年12月21日（金） 午前10時～
2. 開催場所 甲府商工会議所 401会議室
3. 出席者 14名（本人出席8名、代理出席6名、欠席4名）
4. 事務局出席 LLCまちづくり甲府 業務担当 深澤 茂樹
企画担当 渡井 賢一
5. 議 事 1) 一部委員の入れ替えの承認について
2) 基本計画の現状報告について
3) 基本計画の今後の方向性について

6. 議事概要

1) 一部委員の入れ替えの承認について

事務局から委員・オブザーバー合計20名のうち、4名の入れ替えについて説明。各組織の人事異動に伴い、甲府市は宇野副市長から山本副市長に、合同会社まちづくり甲府は大芝から深沢に、朝日通り商店街は樋口理事長から山本理事長に入れ替え。オブザーバーについては、人事異動に伴い甲府警察署交通課の渡辺課長から齊藤課長に入れ替え。4名の入れ替えについて承認を受けた。

2) 基本計画の現状報告について

甲府市企画部池谷課長から説明。

基本計画では69事業に取り組んでいるが、現状では全事業の88.4%である61事業が完了または平成25年3月末までに完了する見込みである。

基本計画の目標に対する実績および達成度については、①小売販売額の実績は43,867百万円（平成22年推計）で達成度88.4%、②歩行者通行量の実績は150,196人（平成23年）で達成度79.9%、③居住人口の実績は5,611人（平成24年）で達成度92.9%である。

質 問：基本計画の目標に対する達成度について、他市ではどのような状況か。

回 答：富山市は、全て目標未達成であるが、路面電車乗客数、歩行者通行量は改善している。青森市も、全て目標未達成であるが、観光客入込数、夜間人口は改善している。金沢市は、中心市街地の人口は達成しているが、他の指標は目標未達成である。

3) 基本計画の今後の方向性について

甲府市企画部池谷課長から説明。

現行計画は平成25年3月に期限を迎えるが、甲府市では中心市街地活性化の取り組みを切れ目なく推進していくため、1年間延長したいと考えている。また、平

成 26 年 4 月以降の第 2 期計画策定の必要性についてご議論いただきたい。なお、平成 25 年 1 月以降、甲府タウンレビューチームにおいても第 2 期計画策定について検討する予定である。

意見①：今後は、個別の事業ごとに数値目標を設定し、結果を検証することも必要ではないか。また、重点地区を決めて目標設定をすることも検討してはどうか。

今後、市役所新庁舎・県防災新館竣工、甲府駅南口修景計画による周辺整備事業等があり、甲府の街が大きく変わろうとしている。計画期間を延長して、事業に継続して取り組むことは意義がある。

意見②：「まちづくり」に大切な、当事者である住民の意識を変えることには、非常に時間がかかる問題であるが、これまで商店街の方や学生たちを中心に様々な取り組みが行われ、意識が変わってきたと感じている。今後、このようなソフト的な芽生えや新庁舎等のハード的な変化もあるので、これらをまちづくりに活かしていくため、次期計画を策定することは意義がある。

意見③：中心市街地活性化基本計画を策定していない場合、国の補助金を使えないケースもある。基本計画は、各市町村の中心市街地活性化に対する、やる気のバロメーターでもあり、国はやる気のあるところに補助を出すという考え方であると思う。

意見④：このことは、基本計画を策定する理由の一つとなる。

質問①：基本計画を延長することについては、本協議会での協議により、認められるということでのよいのか。甲府タウンレビューチームでは、どのようなことを検討・検証するのか。

回答①：甲府タウンレビューチームでは、コンセプトや短期間で必要となるテーマなどを検討・研究していただく。

議題 3) 基本計画の今後の方向性、現行計画を平成 26 年 3 まで 1 年間延長することおよび平成 26 年 4 月からの第 2 期計画を策定することについて、異議はなく、承認を受けた。

本日の議事が全て終了したため、事務局が閉会を宣した。